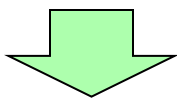


塩尻市中心市街地活性化基本計画

(計画期間 20年11月～26年3月)※ 期間延長適用後

【中心市街地をめぐる状況】

- 中央本線と篠ノ井線が結節する交通の要衝として駅前を中心に発展。
- 昭和57年の塩尻駅の移転に伴い、街のにぎわい部と駅が分離。
- 郊外への大型店進出、商店街店舗の老朽化等により中心市街地の空洞化が進行。
- 市全体は、電気・精密機械の集積度が高い産業構造を形成しており、新たな産業創出、企業立地が期待されている。



○歩行者・自転車通行量

7,352人(S60)⇒4,926人(H19) (▲33.0%)

○商業エリアの人口密度

5,051人/km²(S60)⇒3,424人/km²(H20) (▲32.2%)

○事業所数

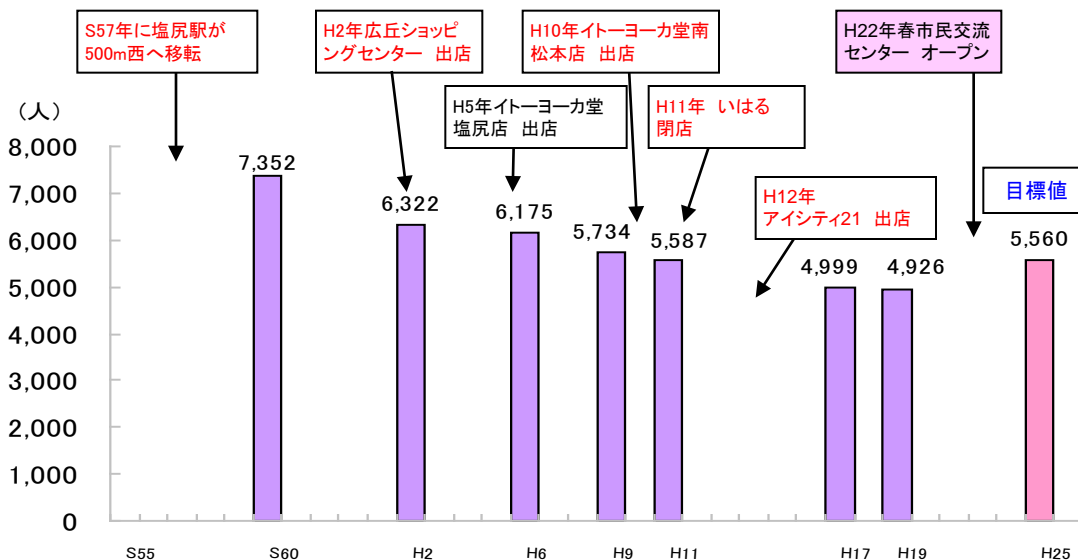
729件(H13)⇒657件(H18) (▲9.9%)

【目標】

目標	指標	現況値	目標(H25)
中心市街地のにぎわいの促進	中心市街地の歩行者・自転車通行量	4,926人(H19)	5,560人
街なか居住の促進	商業エリアの人口密度	3,424人/km ² (H20)	4,240人/km ²
新たな産業や文化の創出	中心市街地の事業所数	657事業所(H18)	657事業所

【歩行者・自転車通行量の動向と数値目標】

数値はH19年の4地点での観測値を基に算出した歩行者通行量(人/日)



中心市街地の核として新たに整備する市民交流センターの整備にあわせ、同センターと商業施設の連携強化を図るとともに、ワイン等の地域資源を活かしたにぎわいの促進及び街なか居住の推進を図り、活性化を目指す。

塩尻市中心市街地活性化基本計画の事業概要

にぎわいの促進

○市民交流センターの整備

衣料品店の撤退跡地に図書館や子育て支援センター等を含む**市民交流センターの整備**を行い、あわせて隣接する**ウイングロードビルとの連絡通路を整備**することにより、相乗効果によるにぎわいの促進を図る。



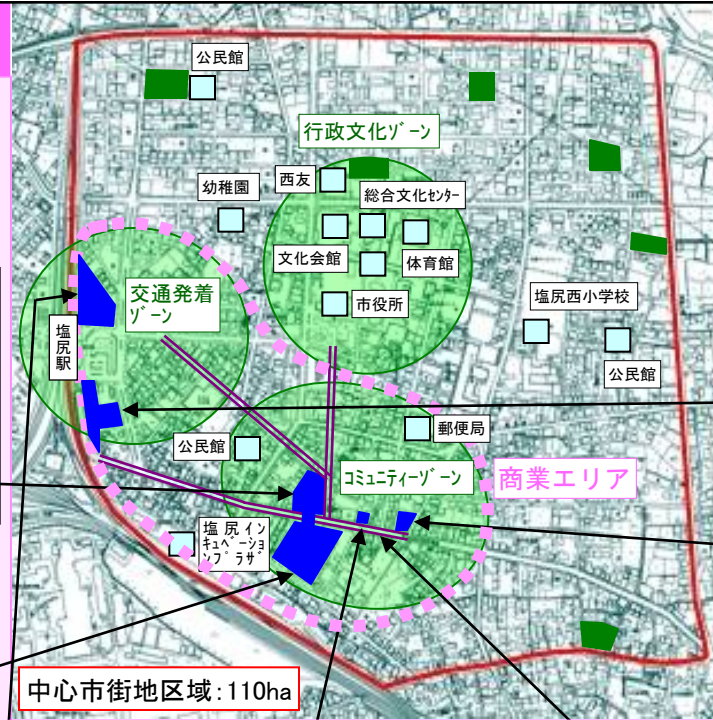
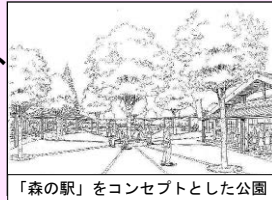
○ウイングロードビルの改修

テナントミックスや店舗改装等を行ない、中心市街地の核店舗として、商店街の活性化を先導する。



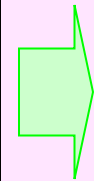
○公園と観光案内センターの整備

市民や観光客等の交流の場として、「**森の駅**」をコンセプトとした**公園を整備**するとともに、**ワイナリーフェスタ**など**各種イベントを開催**し賑わいの創出を図る。あわせて、隣接して整備する**観光案内センター**では**観光案内や特産品の販売**も行う。



○古民家の再生整備

空き店舗となっている**古民家を有効活用**し商店街に不足する**レストランやコミュニティスペース等**として**再生整備**することにより、さらなる集客を図る。



○歩いて楽しい道整備

歩道整備にあわせて、**ポケットパークや花壇、街路灯を設置**し、安全で快適な歩行環境を確保する。

まちなか居住の推進

○市街地再開発(塩尻駅南地区)

塩尻の玄関口にふさわしく、「**森の駅**」を基本コンセプトに**緑と花に囲まれた、1階に商業施設を備えるホテル棟、高齢者介護施設を備える住宅棟の再開発**を行う。



○共同住宅の整備(大門銀座通り地区)

大門銀座通りの空き地空き店舗が集中する区域において、その敷地を活用して**共同住宅を整備**し、街なか居住の推進を図る。



○大門中央通りでのイベント開催

「**ハッピーハロウィンinしおじり**」や「**塩尻玄蕃まつり**」などの**イベント**を継続的に開催し、集客とイメージアップを図る。

